実務経験のある教員等による授業科目一覧【**鍼灸学科**】

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
東洋医学概論１	2	馬男木　亨		
東洋医学概論２	2	馬男木　亨		
経絡経穴概論１	2	中村　裕司		
経絡経穴概論２	2	中村　裕司		
経絡経穴概論３	2	中村　裕司		
東洋医学診断論１	2	村上　晋介		
東洋医学診断論２	2	村上　晋介		
東洋医学臨床論１	2	松井　恵理		
東洋医学臨床論２	2	馬男木　亨		
東洋医学臨床論３	2	馬男木　亨		
鍼灸理論１	2	松井　恵理		
鍼灸理論２	2	黒川　典子		
社会鍼灸学	2	河口　弘幸		
基礎実技１	1	黒川　典子		
基礎実技２	1	松井　恵理		
基礎実技３	1	黒川　典子		
基礎実技４	1	松井　恵理		
応用実技１	1	松井　恵理		
応用実技２	1	宮原　正人		
応用実技３	1	中村　裕司		
応用実技４	1	大庭　慎一朗	篠原　卓也	
応用実技５	1	中村　裕司		
応用実技６	1	大庭　慎一朗		
臨床実技１	1	中村　裕司	松井　恵理	
臨床実技２	1	大中　孝子		
臨床実技３	1	皆川　剛		
臨床実技４	1	村上　晋介		
臨床実技５	1	宮原　正人		
臨床実習１	1	大中　孝子		
臨床実習２	1	大中　孝子		
臨床実習３	1	大中　孝子		
臨床実習４	1	馬男木　亨		
総合演習１	2	松井　恵理	篠原　卓也	
総合演習２	2	黒川　典子	河口　弘幸	
総合演習３	2	中村　裕司	村上　晋介	
総合演習４	2	篠原　卓也		
総合演習５	2	河口　弘幸		
総合演習６	2	馬男木　亨		
合　　計	**57**			

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	自然科学1	担当者名	井手　貴治

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	自然の一つである人体を科学的な観点からみていく授業。人体の大枠である生物を主体に物理、社会学などを広く学ぶ。
成績評価	定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する。
その他	井手貴治（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション　これから学ぶこと
2	生物学①　生物とは（1）
3	生物学②　生物とは（2）
4	生理学入門①　細胞（1）
5	生理学入門②　細胞（2）
6	生物学③　生物の進化（1）
7	生物学④　生物の進化（2）
8	生物学⑤　生物の進化（3）
9	生理学入門③　血液（1）
10	生理学入門④　血液（2）
11	生理学入門⑤　循環（1）
12	生理学入門⑥　循環（2）
13	生理学入門⑦　呼吸（1）
14	生物学入門⑧　呼吸（2）
15	物理学①　生体に作用する力
16	物理学②　力のモーメント・てこ
17	物理学③　運動の法則・運動量保存の法則・エネルギー
18	物理学④　まとめ
19	法学入門
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	自然科学2	担当者名	井手　貴治

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	自然の一つである人体を科学的な観点からみていく授業。人体の大枠である生物を主体に学び、そこから人体組織に関しても学んでいく。
成績評価	定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する。
その他	井手貴治（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	遺伝子雑種、検定交雑
2	遺伝子雑種、検定交雑
3	中間雑種、血液型
4	血液型、補足遺伝子
5	伴性遺伝、性と遺伝、染色体異常症候群
6	伴性遺伝、ショウジョウバエの眼の色の遺伝
7	伴性遺伝、血友病、形質転換
8	バクテリオファージの実験
9	遺伝子の本体DNA
10	中間試験　遺伝
11	DNAについて（タンパク質合成）
12	体液について、体液の循環
13	酸素解離曲線
14	血液凝固、生体防御
15	生体防御、自然免疫
16	獲得免疫、予防接種
17	血清療法、自己免疫疾患
18	国試解答
19	腎臓と肝臓　問題集
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	社会科学	担当者名	菅　典雄

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	経済学と経営学の概念や社会環境の中での機能について理解することを目的とする。
成績評価	定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する。
その他	菅　典雄（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	経営学（1） みんな違って、みんないい
2	成功する鍼灸院の経営
3	治療院の経営（医療と財務の調和）
4	プロフェッショナルは共感の心がつくる
5	仕事人は個の参加する社会を創る
6	ドラッガーの経営学①会社の目的は顧客の創造
7	ドラッガーの経営学②マーケティングとイノベーションが事業のカギ
8	ドラッガーの経営学③イノベーションとはいい変化を起こすこと
9	ドラッガーのマネジメント
10	もし高校野球の女子マネージャーがドラッガーを読んだら
11	ドラッガー経営学：キーワード
12	施術メニューの考え方：イノベーション？
13	マーケティングの実際
14	コトラーの経営学①マーケティング
15	コトラーの経営学②市場の細分化
16	フラガールにおける経営学①
17	フラガールにおける経営学②
18	リーダーシップ、リーダーとは？
19	総復習
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	外国語	担当者名	工藤　和男

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	「人体の器官」では人体の機能をつかさどる各器官の英語表現を、「英作文演習」では医療現場で使用される英語表現を学習する。本学習により医療従事者にとっての英語表現の基礎を習得させる。 （講義の都度各資料配布） 資料1：「人体の器官」（各器官の構造とその英語表現） 資料2：「英作文演習」（医療現場での英語表現）
成績評価	定期試験、再試験、授業態度及び出席状況を総合的に勘案して評価する。
その他	工藤和男（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	授業計画に基づいた資料		
参考図書	看護英語の基本用語と表現	著者　円城寺康子／川越栄子	メジカルビュー社

回数	授業計画
1	人体の器官1（人体の各部位と臓器）、　英作文演習　医療現場での英語1（外来）
2	人体の器官2（心臓／肝臓）、　英作文演習　医療現場での英語2（病棟案内-1）
3	人体の器官3（消化器官／消化酵素）、　英作文演習　医療現場での英語3（病棟案内-2）
4	人体の器官4（膵臓の働き）、　英作文演習　医療現場での英語4（食事）
5	人体の器官5（脳／耳）、　英作文演習　医療現場での英語5（排泄）
6	人体の器官6（小腸と大腸）、　英作文演習　医療現場での英語6（入浴）
7	人体の器官7（目／副腎）、　英作文演習　医療現場での英語7（睡眠）
8	人体の器官8（皮膚／脾臓）、英作文演習　医療現場での英語8（病歴聴取-健康上の習慣）
9	人体の器官9（腎臓）、　英作文演習　医療現場での英語9（病歴聴取-排泄）
10	人体の器官10（呼吸器／血管）、英作文演習　医療現場での英語10（病歴聴取-手術、薬、病状）
11	人体の器官11（口と歯／食道）、英作文演習　医療現場での英語11（血圧検査／体温検査）
12	人体の器官12（脊髄／末梢神経）、英作文演習　医療現場での英語12（血液検査／尿、便検査）
13	人体の器官13（血液の循環と構成）、　英作文演習　医療現場での英語13（投薬）
14	人体の器官14（3大疾患）、　英作文演習　医療現場での英語14（注射、包帯）
15	人体の器官15（免疫システム）、　英作文演習　医療現場での英語15（体位）
16	人体の器官16（リンパ）、　英作文演習　医療現場での英語16（入院）
17	人体の器官17（内分泌腺とホルモン）、　英作文演習　医療現場での英語17（手術）
18	人体の器官18（脳の構造）、　英作文演習　医療現場での英語18（症状を訴えるA）
19	人体の器官19（三大／五大栄養素）、英作文演習　医療現場での英語19（症状を訴えるB）
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	人文科学	担当者名	井浦　ひとみ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			40			

授業概要	将来臨床現場において必要な人材となりうるためにコミュニケーション学の概念や理論を学び、言語や非言語によるコミュニケーションと対人関係との相互作用についての理解を深めることを目的とする。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	井浦ひとみ（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	現代コミュニケーション学	池田　理知子　著	（株）有斐社
参考図書			

回数	授業計画
1	キャリアと豊かな仕事生活①：働くということ
2	キャリアと豊かな仕事生活②：働くということ、仕事への取り組み方①②
3	ビジネスマナーの基本①：ビジネスマナー、職場でのコミュニケーション
4	ビジネスマナーの基本②：社会人としての基準
5	ビジネスマナーの基本③：職場でのコミュニケーション、円滑なコミュニケーション
6	ビジネスマナーの基本④：社会人としての身だしなみ①②
7	ビジネスマナーの基本⑤：マナーの模擬試験
8	就業中のマナー①：出社から退社まで、態度や行動
9	就業中のマナー②：仕事中の態度や行動、感じの良い挨拶
10	就業中のマナー③：就業中のマナー
11	就業中のマナー④：お辞儀の基本とお客様との接し方
12	マナーの模擬試験、指示の受け方と報連相①
13	指示の受け方と報連相②：話を聞くポイント、報告の仕方
14	指示の受け方と報連相③：中間報告、相談と忠告の受け方
15	指示の受け方と報連相④：練習問題、模擬試験
16	話し方の基本①：ビジネスにふさわしい話し方、模擬試験
17	話し方の基本②：印象が良くビジネスにふさわしい話し方、ビジネスの場での言葉遣い
18	話し方の基本③：プレゼンテーションの基本と自己紹介、話し方の基本
19	理解度チェック
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	保健体育理論1	担当者名	得本　啓次

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。 適切な指導を行えることが、今後の健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。本講義は生涯スポーツトレーナー（ベーシック）の資格取得を目指す。
成績評価	レポート30%，試験70%
その他	得本啓次（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	改訂版　生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人 日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人 国際学園
参考図書	生涯スポーツトレーナーアドバンス実践編教本	公益財団法人 日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人 国際学園

回数	授業計画	
1	ガイダンス	自己紹介・これからの講義の進め方・求められる姿勢、評価方法
2	スポーツ行政	我が国のスポーツ行政と生涯スポーツへの取り組み
3	トレーニング法	イメージトレーニングの基礎知識とマインドセット
4	生涯スポーツ	生涯スポーツと健康、生涯スポーツトレーナーの役割と展望
5	トレーニング法	イメージ結合法の理解と実践
6	トレーニング法	イメージトレーニングの実践、発表
7	スポーツ心理学	カウンセリング、人間の心身発達理論
8	スポーツ心理学	コミュニケーションスキル種類を理解し、方法論を学び指導に繋げる
9	スポーツマネジメント	チームマネジメント、マーケティング戦略を理解し健康社会の貢献
10	解剖生理学	解剖学、生理学の概要、骨の組織構造
11	解剖生理学	筋肉の構造とはたらき、筋収縮のメカニズム
12	解剖生理学/運動指導	子どもの身体の特徴と子どもの運動指導
13	解剖生理学/運動指導	高齢者の身体の特徴と高齢者の運動指導
14	健康科学	日常生活での運動の重要性や姿勢の大切さ
15	生涯スポーツ	日常生活で取り組める運動を学び実践
16	関連法規	生涯スポーツトレーナーに関わる法律や関連する法律
17	生理学	エネルギー代謝、ATP再合成
18	総括	各項目の用語の確認と復習
19	総括	各項目の確認
20	終講試験	終講試験の実施

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	保健体育理論2	担当者名	得本　啓次

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数				40		

授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、これからの健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。本授業は主に実技指導を中心に行う。生涯スポーツトレーナー（アドバンス）の資格取得を目指す。開講の順番は変更する可能性があります。
成績評価	レポート30%，試験70%
その他	得本啓次（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	改訂版　生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人　国際学園
参考図書	生涯スポーツトレーナーアドバンス実践編教本 車いす　フィットネストレーナー教本 ティーボールティーチャー指導教本	公益財団法人日本健康スポーツ連盟・編集 公益財団法人日本健康スポーツ連盟・編集 吉村　正	学校法人　国際学園 学校法人　国際学園 体育教育出版会

回数	授業計画	
1	スポーツ心理学	ガイダンス、より良い人間関係を築くための心理学
2	栄養学	スポーツ栄養学三大栄養素と五大栄養素
3	スポーツ医学	筋膜リリースと疲労回復
4	スポーツ医学	筋膜リリースのセルフマッサージ
5	運動指導	ティーボール　概論，必要性，魅力
6	運動指導	ティーボール　ルール，審判方法，運営方法，指導法
7	コンディショニング	基礎理論，アライメントチェック
8	コンディショニング	コンディショニング体操
9	運動指導	ティーボール　捕る投げる打つの基礎動作
10	運動指導	ティーボール　試合形式練習と試合運営
11	運動指導	シングル・ストレッチ　理論と実践
12	指導法	トレーニング指導法理論、トレーニング方法の理解
13	解剖生理学	エネルギー代謝　ATP再合成
14	指導法	トレーニング指導法実施、グループワーク
15	運動指導	子どもと高齢者の運動指導方法の特性と留意点
16	指導法	トレーニング指導法理論、トレーニング方法の理解
17	運動指導	リビング運動　理論と実践
18	スポーツ心理学	モチベーション理論、オープンウィンドウ64作成、発表
19	総括	各分野の確認と試験に向けたまとめ
20	終講試験	終講試験の実施

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学1	担当者名	大庭　慎一朗

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	本科目の目的は骨の構造、形態および機能、筋の構造、形態および機能について、患者さん対して説明できるように内容を理解する。また、自身で専門書などで勉強する時のためにも専門知識を身につける。
成績評価	原則として、小テスト、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	大庭慎一朗（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	解剖について、第1章：人体の区分と方向、 第10章：骨格系：骨総論：連結・関節の種類
2	骨学各論：脊柱の構成―脊柱の機能・椎骨の基本形態、 椎骨の連結・脊柱管・椎間孔・各部の椎骨：頚椎・胸
3	各部の椎骨：腰椎・仙骨・尾骨・仙腸関節・脊柱の靱帯、 胸郭：胸骨・肋骨・胸郭の全体像と運動
4	脊柱のまとめ
5	上肢の骨 ： 上肢帯の骨―鎖骨・肩甲骨
6	自由上肢骨 ： 上腕骨・橈骨・尺骨・手根骨・中手骨・指骨
7	上肢の骨のまとめ
8	下肢帯の骨―寛骨（骨盤）・下肢帯の靱帯,自由下肢骨 ： 大腿骨・脛骨・腓骨
9	足根骨・中足骨・指骨・下肢の靱帯
10	下肢の骨のまとめ
11	頭蓋骨Ⅰ： 頭蓋骨の成り立ち・内頭蓋底
12	頭蓋骨Ⅱ：後頭蓋窩・顔面頭蓋・頭蓋骨をつくる骨
13	頭蓋骨Ⅲ：顔面頭蓋をつくる骨・頭部の関節
14	頭蓋骨のまとめ
15	第10章：骨格系：骨学総論、骨の形状による分類
16	第1章：骨の生理学・骨の発生（軟骨内骨化・膜内骨化）
17	第1章：細胞の構造
18	第1章：細胞周期、遺伝子の働き、上皮組織分類
19	期末試験
20	定期試験の解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学2	担当者名	篠原　卓也

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	本科目の目的は筋の構造、形態および機能について、患者さん対して説明できるように内容を理解する。　また、自身で専門書などで勉強する時のためにも専門知識を身につける。
成績評価	原則として、中間試験、期末試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	篠原卓也（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	筋学総論　筋組織（平滑筋・骨格筋・心筋）　筋原線維（ミオシン・アクチンフィラメント）
2	頭頚部の筋①　表情筋・咀嚼筋　筋の作用と神経支配
3	頭頚部の筋②　頸部の筋肉（広頚筋・胸鎖乳突筋・舌骨上筋群・舌骨下筋群・斜角筋・椎前筋）　筋の作用と神
4	頭頚部の筋③　頸部の三角（前頸三角・後頸三角）
5	体幹前面の筋①　胸部の筋（浅胸筋・深胸筋）　筋の作用と神経支配
6	体幹前面の筋②　胸部の筋（横隔膜）、腹部の筋（前腹筋）　筋の作用と神経支配
7	体幹前面の筋③　腹部の筋（側腹筋・後腹筋）・会陰部の筋　筋の作用と神経支配　鼠径靭帯と鼠径管
8	体幹後面の筋①　背部の筋（浅背筋・深背筋）　筋の作用と神経支配
9	体幹後面の筋②　背部の筋（後頭下筋群）
10	中間試験　上肢の筋①　上肢帯の筋　筋の作用と神経支配
11	上肢の筋②　上腕屈筋群・伸筋群　筋の作用と神経支配
12	上肢の筋③　前腕屈筋群　筋の作用と神経支配
13	上肢の筋④　前腕伸筋群　筋の作用と神経支配
14	上肢の筋⑤　手部の筋　筋の作用と神経支配　手根管・伸筋支帯（第1～6トンネル）・ギオン管
15	下肢の筋①　下肢帯の筋　筋の作用と神経支配
16	下肢の筋②　大腿屈筋群・伸筋群　筋の作用と神経支配　大腿三角
17	下肢の筋③　大腿内転筋群　筋の作用と神経支配
18	下肢の筋④　下腿屈筋群・伸筋群・腓骨筋群　筋の作用と神経支配
19	下肢の筋⑤　足部　屈筋支帯・伸筋支帯・腓骨筋支帯
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学3	担当者名	篠原　卓也

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	本科目の目的は循環器系（心臓、動静脈、リンパ系）の構造、形態、走行および機能、呼吸器系の構造、形態および機能について、患者さん対して説明できるように内容を理解する。また、自身で専門書などで勉強する時のためにも専門知識を身につける。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	篠原卓也（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	血管系
2	心臓①
3	心臓②
4	動脈系①　肺循環、上行大動脈、大動脈弓　、頭頚部の動脈
5	動脈系②　上肢の動脈
6	動脈系③　胸大動脈、腹大動脈、体幹の動脈
7	動脈系④　総腸骨動脈、下肢の動脈
8	動脈系⑤　触診
9	中間試験
10	静脈系①　体幹、頭頚部の静脈
11	静脈系②　上下肢の静脈
12	静脈系③　その他
13	胎児循環
14	リンパ系①
15	リンパ系②
16	呼吸器系①　鼻腔・副鼻腔
17	呼吸器系②　咽頭、喉頭、気管と気管支
18	呼吸器系③　肺
19	呼吸器系④
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学4	担当者名	大庭　慎一朗

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	本科目の目的は内臓系の構造、形態および機能について、患者さん対して説明できるように内容を理解する。　また、自身で専門書などで勉強する時のためにも専門知識を身につける。
成績評価	原則として、定期試験および小テスト、授業態度、追・再試験の結果で評価する。
その他	大庭慎一朗（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	消化器1：総論
2	消化器2：口腔・舌・歯
3	消化器3：唾液腺・咽頭・食道
4	消化器4：胃
5	消化器5：小腸・大腸
6	消化器6：肝臓
7	消化器7：胆のう・膵臓・腹膜
8	泌尿器1：腎臓
9	泌尿器2：尿路
10	中間テスト　生殖器1：男性生殖器
11	生殖器2：女性生殖器
12	内分泌1：総論・下垂体前葉
13	内分泌2：下垂体中・後葉
14	内分泌3：松果体・甲状腺・副甲状腺
15	内分泌4：精巣・卵巣
16	感覚器1：総論・皮膚
17	感覚器2：味覚器・嗅覚器
18	感覚器3：平衡聴覚器、視覚器
19	期末試験
20	期末解説・解答

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学5	担当者名	黒川　典子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			40			

授業概要	中枢神経と末梢神経の構造と走行について習得する。
成績評価	中間試験、期末試験に出席状況、授業態度等を考慮し、総合的に評価する。
その他	黒川典子（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	神経系とは・脊髄
2	延髄・橋・中脳
3	間脳・大脳
4	大脳内の神経線維、脳室、脳脊髄液
5	伝導路
6	伝導路②
7	伝導路③
8	末梢神経系　頚神経叢
9	腕神経叢　上肢の神経
10	中間試験
11	体幹の神経
12	腰神経叢　下肢の神経
13	仙骨神経叢　下肢の神経
14	脳神経①
15	脳神経②
16	脳神経③
17	自律神経系①
18	自律神経系②
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学6	担当者名	黒川　典子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			40			

授業概要	1年次で履修した解剖学を復習する。 国家試験過去問に触れ、問題の解き方や解説の作成方法を身につける。
成績評価	出席、定期試験の結果を踏まえて評価する。 中間試験（30%）、期末試験（60%）、出席（10%）
その他	黒川典子（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書	2022 第20回～第29回 徹底攻略! 国家試験過去問題集 はり師きゅう師用	学校法人 明治東洋医学院編集委員会（著，編集）	医道の日本社

回数	授業計画
1	国試過去問　解説作成
2	国試過去問　解説作成②
3	国試過去問　解説作成③
4	国試過去問　解説作成④
5	解剖学（復習）；第1章　人体の構成
6	解剖学（復習）；第10章　運動器系
7	解剖学（復習）；第10章　運動器系②
8	解剖学（復習）；第8章　神経系
9	復習とまとめ
10	中間試験
11	細胞と骨筋　1
12	細胞と骨筋　2
13	内臓と感覚　1
14	内臓と感覚　2
15	脈管と呼吸　1
16	脈管と呼吸　2
17	問題演習
18	問題演習②
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	生理学1	担当者名	河口　弘幸

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	人体の個々の細胞・組織・器官がどのような性質を持ち、どのように働くのかを理解、 習得する事を目的とする。
成績評価	原則として、中間試験、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	河口弘幸（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学（第3版）	内田さえ・原田玲子他　著 東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	生理学の基礎 ： 生理学の特徴、細胞の構造と機能
2	物質代謝の仕組みと移動、体液の組成と働き
3	血液 ： 血液の組成と働き、血液凝固の仕組み
4	循環 ： 心臓血管系 、心臓
5	血管系の構造と機能
6	血圧、循環の調整
7	循環の調整
8	特殊な部位の循環、リンパ系
9	消化と吸収 ： 消化器系の構造と機能
10	中間試験
11	口腔内の消化と胃内の消化
12	小腸内の消化と吸収
13	大腸内の消化と吸収
14	直腸・肛門と排便
15	消化管ホルモン
16	肝臓の働き
17	栄養と代謝 ： 栄養素とエネルギー代謝、三大栄養素の働きと代謝
18	三大栄養素の働きと代謝
19	ビタミン、無機質、水
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	生理学2	担当者名	河口　弘幸

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	人体の個々の細胞・組織・器官がどのような性質を持ち、どのように働くのかを理解、 習得する事を目的とする。
成績評価	原則として、中間試験、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	河口弘幸（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学（第3版）	内田さえ・原田玲子他　著 東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	呼吸　1：呼吸器系の構造と機能
2	呼吸　2：呼吸運動、肺機能
3	呼吸　3：ガス交換とガスの運搬、呼吸運動の調整
4	体温　1：体熱の産生と放散の仕組み
5	体温　2：体温調節の仕組み
6	排泄　1：腎臓の構造と機能
7	排泄　2：尿の組成、腎臓による体液の調整
8	排泄　3：腎臓による体液の調整の続き
9	排泄　4：蓄尿
10	排泄　5：排尿
11	内分泌　1：ホルモンの一般特徴
12	内分泌　2：視床下部、下垂体のホルモン
13	内分泌　3：甲状腺、副甲状腺のホルモン
14	内分泌　4：膵臓、副腎のホルモン
15	内分泌　5：副腎髄質、副腎皮質のホルモン
16	内分泌　6：精巣・卵巣のホルモン、その他のホルモン、神経によるホルモン調節のまとめ
17	生殖・成長と老化　1：男性と女性の生殖器の構造と機能
18	生殖・成長と老化　2：成長・老化
19	まとめ
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	生理学3	担当者名	黒川　典子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			40			

授業概要	第10章　神経～第12章　運動にかけてを学習する。
成績評価	平常点(5%):教科書チェックで評価する。 定期試験(95%):中間試験(25%)および期末試験(70%)で評価する。
その他	黒川典子(実務経験なし)

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学（第3版）	佐藤優子・佐藤昭夫他　著 東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第10章　神経;ニューロンの構造と働き
2	;ニューロンの構造と働き②
3	;中枢神経系
4	;中枢神経系②
5	;中枢神経系③
6	;末梢神経系
7	;末梢神経系②
8	;末梢神経系③
9	まとめと復習
10	中間試験
11	第11章　筋;構造と働き～筋収縮の仕組み
12	;エネルギー代謝～心筋と平滑筋
13	第12章　運動;運動の調節①
14	;運動の調節②
15	;運動の調節③
16	;運動の調節④
17	;錐体路と錐体外路
18	;発声と言語
19	期末試験
20	試験解説・問題演習

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	生理学4	担当者名	黒川　典子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数				40		

授業概要	第13章　感覚～第15章　身体活動の協調　にかけてを学習する。
成績評価	平常点(5%):教科書チェックで評価する。 定期試験(95%):中間試験(25%)および期末試験(70%)で評価する。
その他	黒川典子(実務経験なし)

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学（第3版）	佐藤優子・佐藤昭夫他　著 東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第13章　感覚　;感覚の分類と一般～内臓感覚
2	;痛覚
3	;痛覚②
4	;痛覚③
5	;特殊感覚
6	;特殊感覚②
7	;特殊感覚③
8	;特殊感覚④
9	まとめと復習
10	中間試験(第13章～14章)
11	第14章　生体の防御機構;生体の防御機構
12	;生体の防御機構②
13	;生体の防御機構③
14	;アレルギー反応
15	;アレルギー反応②
16	第15章　身体活動の協調;生体の適応
17	;恒常性維持
18	;バイオリズム
19	期末試験(第14章～15章)
20	試験解説・問題演習

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	運動学	担当者名	宮原　正人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数				40		

授業概要	運動学人間の身体運動を科学的に研究する学問分野である。運動障害をもつ患者の治療にあたる医療従事者は、治療・訓練を行う際に、その前提に正常運動とはいかなるものかを理解しておく必要がある。そこで、1年次に学習した解剖学、生理学の基礎知識を基に、特に運動系（人間の運動にかかわる身体と構造）について総合的な理解を深めることを教育目標とする。
成績評価	中間試験、期末試験に出席状況、授業態度等を考慮し、総合的に評価する。
その他	宮原正人（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書	配布資料		

回数	授業計画
1	運動学総論
2	上肢の運動①
3	上肢の運動②
4	上肢の運動③
5	上肢の運動④
6	運動器の構造と機能①
7	運動器の構造と機能②
8	神経の構造と機能①
9	神経の構造と機能②
10	中間試験
11	下肢の運動①
12	下肢の運動②
13	下肢の運動③
14	体幹の運動①
15	体幹の運動②
16	姿勢・歩行
17	運動感覚・反射・随意運動
18	運動発達・運動学習
19	期末試験
20	期末試験解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	病理学概論	担当者名	松井　恵理

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数				40		

授業概要	現代医学的観点からそれぞれの器官の疾患の病因、症状、疫学、検査、治療法を理解することを目的とする。
成績評価	原則として、中間試験、期末試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	松井恵理（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	病理学概論　第2版	滝澤 登一郎・畠山　茂　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	総論 ＋ 病因①　内因
2	病因②　外因
3	循環障害①　充血・うっ血・出血・貧血
4	充血、うっ血
5	出血、血栓症
6	塞栓、梗塞、水腫（浮腫）
7	ショック
8	循環障害②　塞栓症・血栓症・梗塞・水腫
9	退行性病変
10	進行性病変①
11	中間試験　＋　進行性病変②
12	炎症①　総論
13	炎症②　分類
14	腫瘍①　総論
15	腫瘍②　分類
16	アレルギー
17	免疫異常
18	遺伝子異常
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学総論1	担当者名	村上　晋介

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			40			

授業概要	現代医学で用いられる診察法と検査法について理解することを目的とする。 また症状別の病態についても習得していく。
成績評価	中間試験、期末試験に出席状況、授業態度等を考慮し、総合的に評価する。
その他	村上晋介（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学総論　第2版	奈良　信夫　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第1章　診察の概要　　第2章　診察の方法①（医療面接・身体診察）　医療面接
2	第2章　診察の方法②（医療面接・身体診察）　視診・触診
3	第2章　診察の方法③（医療面接・身体診察）　打診・聴診
4	第2章　診察の方法④（医療面接・身体診察）　まとめ
5	第3章　生命徴候（バイタルサイン）の診察①　体温・脈拍
6	第3章　生命徴候（バイタルサイン）の診察②　血圧・呼吸
7	第3章　生命徴候（バイタルサイン）の診察③　まとめ
8	第4章　全身の診察①　（顔貌・精神状態・言語・身体計測）
9	中間試験　　第4章　全身の診察②　（体型・栄養状態）
10	第4章　全身の診察③　（姿勢と体位・歩行）
11	第4章　全身の診察④　（皮膚状態・爪の状態・リンパ節）
12	第4章　全身の診察⑤　まとめ
13	第5章　局所の診察①　（頭部・顔面・眼）
14	第5章　局所の診察②　（鼻・耳・口腔・頸部）
15	第5章　局所の診察③　（胸部・乳房・肺・心臓）
16	第5章　局所の診察④　（腹部・背部・四肢の変形）
17	第5章　局所の診察⑤　まとめ
18	第6章　神経系の診察①　（感覚検査法・反射検査）
19	第6章　神経系の診察②　（脳神経系の検査・髄膜刺激症状）
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学総論2	担当者名	早野　大孝

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数				40		

授業概要	現代医学で用いられる診察法と検査法について理解することを目的とする。 また症状別の病態についても習得していく。
成績評価	原則として、定期試験（中間試験2回、期末試験1回の計3回実施する）、追・再試験の結果、 及び出席により評価する。
その他	早野大孝（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学総論　第2版	奈良　信夫　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第7章　運動機能検査　1
2	第7章　運動機能検査　2
3	第7章　運動機能検査　3
4	中間試験（1回目）
5	第8章　その他の診察
6	第9章　臨床検査法　1
7	第9章　臨床検査法　2
8	第9章　臨床検査法　3
9	中間試験（2回目）
10	第10章　おもな症状の診察法　1
11	第10章　おもな症状の診察法　2
12	第10章　おもな症状の診察法　3
13	第10章　おもな症状の診察法　4
14	第10章　おもな症状の診察法　5
15	第10章　おもな症状の診察法　6
16	第10章　おもな症状の診察法　7
17	第10章　おもな症状の診察法　8
18	第11章　治療学　・　第12章　臨床心理
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学各論1	担当者名	早野　大孝

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			40			

授業概要	現代医学的観点からそれぞれの器官の疾患の病因、症状、疫学、検査、治療法を理解することを目的とする。
成績評価	原則として、定期試験（中間試験2回、期末試験1回の計3回実施する）、追・再試験の結果、及び出席により評価する。
その他	早野大孝（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論　第2版	奈良　信夫・佐藤千史他　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第1章　感染症　1
2	第1章　感染症　2
3	第1章　感染症　3
4	第1章　感染症　4
5	第1章　感染症　5
6	中間試験（1回目）
7	第2章　消化管疾患　1
8	第2章　消化管疾患　2
9	第2章　消化管疾患　3
10	第2章　消化管疾患　4
11	第2章　消化管疾患　5
12	第2章　消化管疾患　6
13	中間試験（2回目）
14	第3章　肝・胆・膵疾患　1
15	第3章　肝・胆・膵疾患　2
16	第3章　肝・胆・膵疾患　3
17	第3章　肝・胆・膵疾患　4
18	第3章　肝・胆・膵疾患　5
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学各論2	担当者名	宮原　正人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	現代医学的観点からそれぞれの器官の疾患の病因、症状、疫学、検査、治療法を理解することを目的とする。
成績評価	原則として、授業態度、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	宮原正人（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論　第2版	奈良　信夫・佐藤千史他　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	呼吸器疾患1
2	呼吸器疾患2
3	呼吸器疾患3
4	血液・造血疾患1
5	血液・造血疾患2
6	血液・造血疾患3
7	神経疾患1
8	神経疾患2
9	神経疾患3
10	中間試験・解答　解説
11	神経疾患4
12	神経疾患5
13	神経疾患6
14	その他の領域1
15	その他の領域2
16	その他の領域3
17	その他の領域4
18	その他の領域5
19	期末試験
20	期末試験解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学各論3	担当者名	早野　大孝

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	現代医学的観点からそれぞれの器官の疾患の病因、症状、疫学、検査、治療法を理解することを目的とする。
成績評価	原則として、定期試験（中間試験2回、期末試験1回の計3回実施する）、追・再試験の結果、及び出席により評価する。
その他	早野大孝（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論　第2版	奈良　信夫・佐藤千史他　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第5章　腎・尿器疾患　1
2	第5章　腎・尿器疾患　2
3	第5章　腎・尿器疾患　3
4	第5章　腎・尿器疾患　4
5	中間試験（1回目）　第6章　内分泌疾患　1
6	第6章　内分泌疾患　2
7	第6章　内分泌疾患　3
8	第6章　内分泌疾患　4
9	第7章　代謝・栄養疾患　1
10	第7章　代謝・栄養疾患　2
11	中間試験（2回目）　第9章　循環器疾患　1
12	第9章　循環器疾患　2
13	第9章　循環器疾患　3
14	第9章　循環器疾患　4
15	第9章　循環器疾患　5
16	第12章　リウマチ性疾患・膠原病　1
17	第12章　リウマチ性疾患・膠原病　2
18	第12章　リウマチ性疾患・膠原病　3
19	期末試験
20	解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学各論4	担当者名	早野　大孝

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数						40

授業概要	臨床医学各論1～3の内容を詳細に確認し、総復習を行う。
成績評価	原則として、小テスト、定期試験および追・再試験の結果により評価する。
その他	早野大孝（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論　第2版	奈良　信夫・佐藤千史他　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	感染症
2	消化管疾患
3	肝・胆・膵疾患
4	呼吸器疾患
5	腎・尿器疾患
6	内分泌疾患
7	代謝・栄養疾患
8	整形外科疾患
9	中間試験
10	循環器疾患
11	血液・造血器疾患
12	神経疾患
13	リウマチ性疾患・膠原病
14	一般外科
15	麻酔科
16	婦人科疾患
17	皮膚科疾患
18	精神科疾患
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	リハビリテーション医学	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	リハビリテーションの基礎のうち最も大切な障害学と運動学を習得し、正しい知識を深めることを目的とする。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	馬男木亨（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	リハビリテーション医学　第4版	土肥　信之　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書	配布資料		

回数	授業計画
1	リハビリテーションと障害
2	リハビリテーションと医学と医療
3	障害の評価①
4	障害の評価②
5	脳卒中①
6	脳卒中②
7	脊髄損傷①
8	脊髄損傷②
9	切断①
10	中間試験　解答・解説
11	切断②
12	小児疾患
13	パーキンソン病
14	関節リウマチ
15	変形性関節症
16	呼吸器疾患
17	心疾患
18	運動学の基礎
19	期末試験
20	期末試験の解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	医療概論	担当者名	黒川　典子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数						40

授業概要	医療従事者として必要な医学の歴史のほか、我が国の医療福祉のシステムについて学習する。 また医療従事者として必要な倫理観、バイオエシックスに関連するトピックに触れる。
成績評価	平常点（5%）：教科書チェックで評価する。 定期試験（95%）：中間試験（25%）および期末試験（70%）で評価する。
その他	黒川典子（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	医療概論	中川米造　監修 (公社)東洋療法学校協会　編	医歯薬出版

回数	授業計画
1	医学と医療の歴史
2	現代の医学と医療
3	医療制度
4	医療制度②
5	医療制度③
6	社会保障制度
7	社会保障制度②
8	社会保障制度③
9	復習とまとめ
10	中間試験
11	医療従事者の倫理
12	医療従事者の倫理②
13	バイオエシックス
14	バイオエシックス②
15	バイオエシックス③
16	問題演習
17	問題演習②
18	復習とまとめ
19	期末試験
20	期末試験の解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	衛生学公衆衛生学	担当者名	大庭　慎一朗

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	人体と環境との繋がりを学び、医療に必要な衛生学的知識を習得させ、身につけることを目的とする。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果、及び授業態度で評価する。
その他	大庭慎一朗（実務経験なし）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	衛生学・公衆衛生学	鈴木庄亮・他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	衛生学について・第1章：衛生学とは
2	第2章：健康の概念
3	第3章：ライフスタイルと健康
4	第4章：環境と健康：日常生活環境・環境問題1
5	第4章：環境問題2
6	第5章：産業保健
7	第6章：精神保健の意義、精神の健康、精神障害の現状と分類Ⅰ
8	第7章：母子保健
9	第8章：老人・高齢者保健の意義・加齢と老化・生活習慣病の特徴と対策
10	第8章：老人福祉対策、介護保険、難病対策の現状
11	第9章：感染症の意義と種類
12	第9章：発生要因・感染症
13	第10章：消毒法一般、消毒の種類
14	第11章：疫学
15	第12章：保健統計①
16	第12章：保健統計②
17	第12章：保健統計③
18	国際保健
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学概論1	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	鍼灸治療に必要な基本的東洋医学の理論を学び、人体のとらえ方、疾病観について理解することを目的とする。
成績評価	定期試験の成績および出席状況、授業態度を総合的に判断し評価する。
その他	馬男木　亨（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋医法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	東洋医学について
2	陰陽論・五行論①
3	陰陽論・五行論②
4	陰陽論・五行論③
5	精の生理・病理
6	気の生理・病理①
7	気の生理・病理②
8	気の生理・病理③
9	東洋医学の改革
10	中間試験　解答・解説
11	経絡について
12	血の生理・病理①
13	血の生理・病理②
14	津液の生理・病理①
15	津液の生理・病理②
16	五神・情志について
17	陰虚・陰盛・陽虚・陽盛①
18	陰虚・陰盛・陽虚・陽盛②
19	期末試験
20	解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学概論2	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	鍼灸治療に必要な基本的東洋医学の理論を学び、人体のとらえ方、疾病観について理解することを目的とする。
成績評価	定期試験の成績および出席状況、授業態度を総合的に判断し評価する。
その他	馬男木　亨（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋医法学校協会編	医道の日本社
参考図書	中医学の基礎	有馬直樹/兵頭昭 日中共同編集	東洋学術出版社

回数	授業計画
1	蔵象学説（肝、胆、心、小腸の生理）
2	蔵象学説（脾、胃、肺、大腸の生理）
3	蔵象学説（腎、膀胱、三焦の生理）
4	蔵象学説（肝、胆の病証）
5	蔵象学説（心、小腸の病証）
6	蔵象学説（脾、胃の病証）
7	蔵象学説（肺、大腸の病証）
8	蔵象学説（腎の病証）
9	蔵象学説（膀胱、三焦の病証）
10	中間試験　解答・解説
11	五臓の相互関係①
12	五臓の相互関係②
13	五臓の相互関係③
14	五臓の関連領域の気機①
15	五臓の関連領域の気機②
16	蔵象学説まとめ
17	病因病機①
18	病因病機②
19	期末試験
20	解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	経絡経穴概論1	担当者名	中村　裕司

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	東洋医学の診断・治療に深く関わる経絡と経穴の理解することを目的とする。 また、経穴と局所解剖の関連性を理解する。
成績評価	定期試験及び小テスト、追・再試の結果で評価する。
その他	中村　裕司（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版　経絡経穴概論　第2版	教科書執筆委員会　著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	総論①
2	総論②
3	総論③
4	督脈①
5	督脈②
6	督脈③
7	任脈①
8	任脈②
9	手の太陰肺経
10	1～9のまとめ
11	手の陽明大腸経①
12	手の陽明大腸経②
13	足の陽明胃経①
14	足の陽明胃経②
15	足の陽明胃経③
16	足の太陰脾経①
17	足の太陰脾経②
18	手の少陰心経
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	経絡経穴概論2	担当者名	中村　裕司

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	東洋医学の診断・治療に深く関わる経絡と経穴の理解することを目的とする。
成績評価	定期試験及び小テスト、追・再試の結果で評価する。
その他	中村　裕司（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版　経絡経穴概論　第2版	教科書執筆委員会　著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	手の太陽小腸経①
2	手の太陽小腸経②
3	足の太陽膀胱経①
4	足の太陽膀胱経②
5	足の太陽膀胱経③
6	足の太陽膀胱経④
7	足の少陰腎経①
8	足の少陰腎経②
9	手の厥陰心包経
10	中間試験・解答解説
11	手の少陽三焦経①
12	手の少陽三焦経②
13	足の少陽胆経①
14	足の少陽胆経②
15	足の少陽胆経③
16	足の少陽胆経④
17	足の厥陰肝経①
18	足の厥陰肝経②
19	期末試験
20	期末試験の解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	経絡経穴概論3	担当者名	中村　裕司

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	東洋医学の診断・治療に深く関わる経絡と経穴の理解することを目的とする。
成績評価	定期試験及び小テスト、追・再試の結果で評価する。
その他	中村　裕司（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版　経絡経穴概論　第2版	教科書執筆委員会　著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	奇経八脈
2	奇穴①
3	奇穴②
4	経絡の流注
5	五要穴まとめ①
6	五要穴まとめ②
7	五行穴まとめ①
8	五行穴まとめ②
9	その他の要穴まとめ
10	中間試験、1～9のまとめ
11	頭頚部の経穴のまとめ①
12	頭頚部の経穴のまとめ②
13	肩・上肢・腹部の経穴のまとめ①
14	肩・上肢・腹部の経穴のまとめ②
15	肩・上肢・腹部の経穴のまとめ③
16	下肢・背部の経穴のまとめ①
17	下肢・背部の経穴のまとめ②
18	下肢・背部の経穴のまとめ③
19	期末試験
20	期末試験の解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学診断論1	担当者名	村上　晋介

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			40			

授業概要	東洋医学の診察法である四診について、また、治療法である治則・治法について学び、東洋医学的な鑑別診断に用いる知識を学ぶ。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	村上　晋介（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版　東洋医学概論	教科書執筆委員会　著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	望診①（神・五色診・形・態）
2	望診②（舌診）
3	望診③（舌診）
4	聞診（声診・気味）
5	問診①（問診の進め方・主訴）
6	問診②（基本的問診事項①）
7	問診③（基本的問診事項②）
8	問診④（その他の問診事項①）
9	問診⑤（その他の問診事項②）
10	中間試験
11	切診①（腹診）
12	切診②（脈診：比較脈診・六部定位脈診①）
13	切診③（脈診：比較脈診・六部定位脈診②）
14	弁証論治：弁証①（八綱弁証・気血津液弁証・臓腑弁証・経絡弁証・六経弁証・衛気営血弁証・三焦弁証）
15	弁証論治：弁証②（八綱弁証・気血津液弁証・臓腑弁証・経絡弁証・六経弁証・衛気営血弁証・三焦弁証）
16	弁証論治：論治①（治則・治法）
17	弁証論治：論治②（鍼灸治療：五刺・九刺・十二刺）
18	総復習
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学診断論2	担当者名	村上　晋介

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数				40		

授業概要	症状に対して、東洋医学的病態把握（弁証論治）、治療方法（配穴）を習得する。
成績評価	定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	村上　晋介（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋医法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	頭痛
2	顔面痛、顔面麻痺
3	歯痛、眼精疲労
4	鼻閉、鼻汁、脱毛症
5	めまい、耳鳴、難聴
6	咳嗽、喘息
7	胸痛、腹痛
8	悪心、嘔吐
9	便秘、下痢
10	中間試験　解答・解説
11	月経異常
12	排尿障害、インポテンス
13	高血圧、低血圧
14	食欲不振、肥満
15	発熱、のぼせ、冷え
16	不眠、倦怠感
17	発赤、小児症状
18	まとめ
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学臨床論1	担当者名	松井　恵理

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数				40		

授業概要	患者さんの主訴に対する西洋医学的(現代医学的)な病態把握、治療を学ぶ。
成績評価	定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	松井　恵理(はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務)

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 (社)東洋医法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	腰部の解剖　股関節の解剖
2	腰下肢痛①
3	腰下肢痛②　神経学的診断
4	腰下肢痛③　神経学的診断
5	股関節痛
6	膝の解剖
7	膝痛
8	下肢の疾患①
9	下肢の疾患②
10	中間試験　解答・解説
11	頸部の解剖
12	頚肩腕痛①
13	頚肩腕痛②　神経学的診断
14	頚肩腕痛③　神経学的診断
15	胸郭出口症候群
16	肩関節の解剖　肩関節疾患①
17	上肢の解剖　上腕二頭筋長頭腱炎
18	絞扼神経障害(橈骨神経・正中神経・尺骨神経)
19	期末試験
20	解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学臨床論2	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	東洋医学概論で学んだ概念を元に、臨床上遭遇しやすい疾患・症候についての概要と治療法を理解することを目的とする。 また治療の適不適の鑑別を判断し適切な鍼灸治療が行えるように、東洋医学的、西洋医学的の両観点から疾患の知識を深める。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	馬男木　亨（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	神経・筋疾患①
2	神経・筋疾患②
3	神経・筋疾患③
4	運動器疾患①
5	運動器疾患②
6	運動器疾患③
7	スポーツ障害①
8	スポーツ障害②
9	現代医学的治療の考え方
10	中間試験　解答・解説
11	消化器疾患
12	呼吸器疾患
13	循環器疾患
14	泌尿器疾患
15	婦人科膝関
16	耳鼻咽喉疾患
17	膠原病
18	その他の内科疾患・老年医学
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学臨床論3	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数						40

授業概要	東洋医学概論で学んだ概念を元に、臨床上遭遇しやすい疾患・症候についての概要と治療法を理解することを目的とする。 また治療の適不適の鑑別を判断し適切な鍼灸治療が行えるように、東洋医学的、西洋医学的の両観点から疾患の知識を深める。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	馬男木　亨（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	東洋医学臨床論：基礎①
2	東洋医学臨床論：基礎②
3	東洋医学臨床論：基礎③
4	東洋医学臨床論：基礎④
5	東洋医学臨床論：基礎⑤
6	東洋医学臨床論：基礎⑥
7	東洋医学臨床論：基礎⑦
8	東洋医学臨床論：基礎⑧
9	東洋医学臨床論：基礎⑨
10	中間試験　解答・解説
11	東洋医学臨床論：臨床①
12	東洋医学臨床論：臨床②
13	東洋医学臨床論：臨床③
14	東洋医学臨床論：臨床④
15	東洋医学臨床論：臨床⑤
16	東洋医学臨床論：臨床⑥
17	東洋医学臨床論：臨床⑦
18	東洋医学臨床論：臨床⑧
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	鍼灸理論1	担当者名	松井　恵理

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	医療の中で求められる鍼灸治療の基本知識や生体反応について理解し、東洋医学と西洋医学の相互理解を深めることを目的とする。 またここでは鍼灸臨床で用いる器具、技術、衛生処置、リスク管理について学ぶ。
成績評価	原則として、小テスト、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	松井　恵理（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう理論	教科書執筆委員会　著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	鍼術の定義
2	灸術の定義
3	用具について
4	古代九鍼について①
5	古代九鍼について②
6	特殊鍼法①
7	特殊鍼法②
8	灸の基礎実技①
9	灸術の種類
10	①～⑧のまとめ
11	中間試験
12	鍼灸の臨床応用①
13	鍼灸の臨床応用②
14	リスク管理①（安全対策）
15	リスク管理②（感染対策）
16	リスク管理③（鍼の有害事象）
17	リスク管理④（灸の有害事象）
18	12～17のまとめ
19	期末試験・解答解説
20	もぐさ作り

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	鍼灸理論2	担当者名	黒川　典子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	医療の中で求められる鍼灸治療の基本知識や生体反応について理解し、東洋医学と 西洋医学の相互理解を深めることを目的とする。 ここでは鍼灸臨床で用いる器具、技術、衛生処置、リスク管理、生体反応、研究、学説について学ぶ。
成績評価	平常点(5%):教科書チェックで評価する。 定期試験(95%):中間試験(25%)および期末試験(70%)で評価する。
その他	黒川　典子(はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務)

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう理論(第2版)	教科書執筆小委員会著 (社)東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書	はりきゅう理論(第3版) 生理学(第3版)	教科書執筆小委員会著 (社)東洋療法学校協会編	医道の日本社

回数	授業計画
1	第9章　鍼灸治効の基礎
2	第9章　鍼灸治効の基礎
3	第9章　鍼灸治効の基礎
4	第9章　鍼灸治効の基礎
5	第9章　鍼灸治効の基礎
6	第9章　鍼灸治効の基礎
7	復習とまとめ
8	問題演習
9	問題演習
10	中間試験
11	第10章　鍼灸療法の一般治効理論
12	第10章　鍼灸療法の一般治効理論
13	第10章　鍼灸療法の一般治効理論
14	第10章　鍼灸療法の一般治効理論
15	第10章　鍼灸療法の一般治効理論
16	第10章　鍼灸療法の一般治効理論
17	復習とまとめ
18	問題演習
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	社会鍼灸学	担当者名	河口　弘幸

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	現代社会においてのはり師・きゅう師の役割や社会的ニーズを、歴史や関係する法律を踏まえて学ぶ
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	河口　弘幸（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	関係法規、医療概論	教科書執筆小委員会　著 （社）東洋療法学校協会　編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション＋世界医療史
2	東洋医学史
3	日本医学史①
4	日本医学史②
5	現代の医療制度とその問題点①：福祉法規、社会保険など
6	現代の医療制度とその問題点②：医療費の問題（医療費増大の問題、公費負担医療について）
7	あはき法①（「免許」「取得・再交付・身分の消滅と復活」）
8	あはき法②（業務内容・施術所・罰則①）
9	あはき法③（業務内容・施術所・罰則②）
10	あはき法④「罰則」、法の種類、医療法、医師法
11	医療従事者に関する法律（医師と薬剤師）、保健一般に関する法律、予防衛生に関する法律
12	あはき法③（業務内容・施術所・罰則②）
13	あはき法③（業務内容・施術所・罰則②）
14	あはき法③（業務内容・施術所・罰則②）
15	あはき法③（業務内容・施術所・罰則②）
16	環境衛生に関する法律、社会福祉関係法規、介護保険制度
17	鍼灸師が活躍する場①（開業鍼灸師）
18	鍼灸師が活躍する場②（病院勤務鍼灸師）
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	基礎実技1	担当者名	黒川　典子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数	40					

授業概要	鍼に関する必要な基礎知識・基本手技の習得ができるようになるための授業を行う。 鍼施術を行う際に必要な基本手技を習得し、身体各部に対して衛生的で安全な鍼施術が行えるようにする。また過誤や副作用についてしっかりと意識付ける。
成績評価	平常点（30%）：実技室の使用ルールに従った減点方式で評価する。 定期試験（70%）：中間試験および期末試験の平均をとり、7割換算する。
その他	黒川　典子（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう理論	教科書執筆委員会　著 （社）東洋療法学校協会　編	医道の日本社
参考図書	はりきゅう実技　基礎編 新版　経絡経穴概論（第2版）	教科書執筆委員会　著 （社）東洋療法学校協会　編	医道の日本社

回数	授業計画
1	鍼の基礎知識・道具と確認・準備について
2	刺鍼手順
3	感染症対策、挿管から刺入まで①
4	感染症対策、挿管から刺入まで②
5	感染症対策、挿管から刺入まで③
6	刺鍼の術式①
7	刺鍼の術式②
8	刺鍼の術式③
9	試験前の復習とまとめ
10	中間試験
11	施術前の衛生操作
12	自己刺入
13	自己刺入（下腿内側）
14	自己刺入（大腿前面）
15	タオルワークと体位変換
16	対人刺入
17	対人刺入（下腿）
18	対人刺入（前腕）
19	試験前の復習とまとめ
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	基礎実技2	担当者名	松井　恵理

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数	40					

授業概要	基礎的な灸の技術を安全かつスムーズに行えるようにする。 米粒大、半米粒大以外の大きさも修得し、熱さをコントロールできるようにする。
成績評価	定期試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して 総合的に評価します。また、課題の提出も考慮します。
その他	松井　恵理（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技　基礎編	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	灸とは何か
2	施灸練習（ベニヤ施灸）
3	施灸練習（ベニヤ施灸）
4	施灸練習（ベニヤ施灸）　点火開始
5	施灸練習（ベニヤ施灸）
6	施灸練習（ベニヤ施灸）
7	施灸練習（ベニヤ施灸）
8	施灸練習（ベニヤ施灸）＋竹への施灸
9	施灸練習（ベニヤ施灸）＋竹への施灸
10	中間テスト
11	施灸練習（ベニヤ施灸）＋（自足施灸）
12	施灸練習（ベニヤ施灸）＋（自足施灸）
13	施灸練習（ベニヤ施灸）＋（自足施灸）
14	施灸練習（ベニヤ施灸）＋（自足施灸）
15	施灸練習（自足施灸）＋（他者の失眠穴に施灸）
16	施灸練習（自足施灸）＋（他者の失眠穴に施灸）
17	施灸練習（自足施灸）＋（他者の足三里・三陰交穴に施灸）
18	期末試験の説明＋（他者の足三里・三陰交穴に施灸）
19	まとめ
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	基礎実技3	担当者名	黒川　典子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数		40				

授業概要	鍼に関する必要な基礎知識・基本手技の習得ができるようになるための授業を行う。 鍼施術を行う際に必要な基本手技を習得し、身体各部に対して衛生的で安全な鍼施術が行えるようにする。また過誤や副作用についてしっかりと意識付ける。
成績評価	平常点（30%）：実技室の使用ルールに従った減点方式で評価する。 定期試験（70%）：中間試験および期末試験の平均をとり、7割換算する。
その他	黒川　典子（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう理論	教科書執筆委員会　著 （社）東洋療法学校協会　編	医道の日本社
参考図書	はりきゅう実技　基礎編 新版　経絡経穴概論（第2版）	教科書執筆委員会　著 （社）東洋療法学校協会　編	医道の日本社

回数	授業計画
1	施鍼の基本的な流れ
2	対人刺鍼（下肢）①
3	対人刺鍼（下肢）②
4	対人刺鍼（上肢）①
5	対人刺鍼（上肢）②
6	対人刺鍼（腰背部）①
7	対人刺鍼（腰背部）②
8	対人刺鍼（腰背部）③
9	試験前の復習とまとめ
10	中間試験
11	対人刺鍼（殿部）
12	対人刺鍼（頭部・顔面部）
13	体位変換を伴う施鍼①
14	体位変換を伴う施鍼②
15	指サックを使った施鍼①
16	指サックを使った施鍼②
17	グローブを使った施鍼①
18	グローブを使った施鍼②
19	試験前の復習とまとめ
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	基礎実技4	担当者名	松井　恵理

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数		40				

授業概要	基礎的な灸の技術を安全かつ衛生的にパートナーに行えることを習得することを目的とする。 また過誤や副作用についてしっかりと意識付ける。
成績評価	定期試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して 総合的に評価します。また、課題の提出も考慮します。
その他	松井　恵理（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技　基礎編	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	2点3壮施灸について
2	上肢外側面への施灸①大腸経
3	上肢外側面への施灸②三焦経
4	上肢内側面への施灸①肺経
5	上肢内側面への施灸②心経・心包経
6	下肢前面への施灸練習①胃経
7	下肢前面への施灸練習②脾経
8	下肢前面への施灸練習③胆経
9	中間テスト
10	中間テスト
11	腹部への施灸
12	腰部への施灸
13	背部への施灸
14	頭部への施灸
15	上肢への施灸
16	下肢への施灸
17	下肢への施灸
18	隔物灸
19	期末試験
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	応用実技1	担当者名	松井　恵理

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数			40			

授業概要	伝統医学における鍼灸臨床は、四診法（望・聞・問・切診）を行い、弁証論治に基づき処方と配穴を行う。 そこで、四診法を体得し、弁証論治を習得する。
成績評価	中間試験、期末試験および授業態度を考慮し、総合的に評価する。
その他	松井　恵理（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	配布プリント		
参考図書			

回数	授業計画
1	ガイダンス　施灸練習
2	望診（舌診）①
3	望診（舌診）②
4	聞診
5	問診①
6	問診②
7	切診①（脈診）
8	切診②（脈診）
9	切診③（脈診）
10	中間試験
11	切診（腹診）①
12	切診（腹診）②
13	切診（背診）①
14	切診（背診）②
15	切診（切経、切穴）
16	四診法まとめ
17	四診法から弁証論治①
18	四診法から弁証論治②
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	応用実技2	担当者名	宮原　正人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数			40			

授業概要	日常で障害されやすい筋肉の触診と、その筋に対して正確でスムーズな施術を体得する。 その中で、鍼通電療法（パルス）を体得する。
成績評価	中間試験、期末試験および授業態度を考慮し、総合的に評価する。
その他	宮原　正人（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	図解　整形外科学検査法		

回数	授業計画
1	ガイダンス　低周波鍼通電療法の使い方
2	下腿部の触診
3	下腿部（伸筋群）のパルス①（前脛骨筋、長指伸筋、腓腹筋など）
4	下腿部（屈筋群）のパルス②（腓腹筋、長趾屈筋、後脛骨筋など）
5	大腿部の触診
6	大腿部のパルス（大腿四頭筋、大腿二頭筋など）
7	前腕部の触診
8	前腕部（伸筋群）のパルス①（橈側手根伸筋、総指伸筋など）
9	前腕部（屈筋群）のパルス②（橈側手根屈筋、腕橈骨筋など）
10	中間試験
11	上腕部の触診
12	上腕部のパルス（上腕二頭筋、上腕三頭筋、三角筋など）
13	肩甲部の触診
14	肩甲部のパルス（棘上筋、棘下筋、肩甲挙筋など）
15	腰背部の触診
16	腰背部のパルス（僧帽筋、脊柱起立筋、腰方形筋など）
17	頭部、頸部の触診
18	頭部、頸部のパルス（板状筋、斜角筋、胸鎖乳突筋など）
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	応用実技3	担当者名	中村　裕司

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数			40			

授業概要	鍼灸臨床でよく用いられる経穴のスムーズな取穴と施術を体得する。
成績評価	配点の割合は、中間試験5割、期末試験5割で行う。取穴実技、小テスト、平常点(授業に対する姿勢)・出席点などで総合的に評価する。2～10回の授業ではTシャツが必要、11～20回の授業では短パンが必要。シールで取穴を行うが、ペンで行いたいものはペンを使用しても構わない。
その他	中村　裕司（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版　経絡経穴概論	教科書執筆小委員会著 (社)東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	授業の説明、試験の説明、骨度寸法
2	手の太陰肺経、手の陽明大腸経の取穴
3	手の少陰心経、手の太陽小腸経の取穴
4	手の厥陰心包経、手の少陽三焦経の取穴
5	背部兪穴の取穴①
6	背部兪穴の取穴②
7	手の三陰経で取穴
8	手の三陽経で取穴
9	取穴練習
10	中間試験
11	足の陽明胃経、足の太陰脾経の取穴
12	足の太陽膀胱経、足の少陰腎経の取穴
13	足の少陽胆経、足の厥陰肝経の取穴
14	募穴の取穴①
15	募穴の取穴②
16	足の三陰経で取穴
17	足の三陽経で取穴
18	取穴練習
19	取穴練習
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	応用実技4	担当者名	大庭慎一朗　篠原卓也

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数			40			

授業概要	現代医学的に病態を把握する中で、必ず必要となる検査法を習得する。
成績評価	中間試験、期末試験および授業態度を考慮し、総合的に評価する。
その他	大庭　慎一朗（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務） 篠原卓也（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技　基礎編	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	頸部と上肢の検査
2	頸部と上肢の検査
3	頸部と上肢の検査
4	頸部と上肢の検査
5	頸部と上肢の検査
6	頸部と上肢の検査
7	頸部と上肢の検査
8	頸部と上肢の検査
9	頸部と上肢の検査
10	中間試験
11	腰部と下肢の検査
12	腰部と下肢の検査
13	腰部と下肢の検査
14	腰部と下肢の検査
15	腰部と下肢の検査
16	腰部と下肢の検査
17	腰部と下肢の検査
18	腰部と下肢の検査
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	応用実技5	担当者名	中村　裕司

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数				40		

授業概要	ここでは基礎で学んだ技術に身体の各部位別に適切な刺鍼・施灸が行えることを目的とする。 また疾患の鑑別に必要な検査法を習得することを目的とする。
成績評価	実技小テストの点数と、期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての 自覚を加味して総合的に評価します。
その他	中村　裕司（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	図解　整形外科学検査法	新関真人	医道の日本

回数	授業計画
1	膝：検査法①：OAに対する検査法　②：外傷に対する検査法
2	膝：ROM測定練習
3	膝：ROM・検査復習　刺鍼・施灸　1
4	膝：ROM・検査復習　刺鍼・施灸　2
5	足関節：検査法①捻挫に対する検査法
6	足関節：ROM足関節～足趾測定練習　1
7	足関節：ROM・検査復習　刺鍼・施灸1
8	膝・足關節：ROM・検査　刺鍼・施灸まとめ
9	中間試験　刺鍼・施灸練習
10	中間試験　刺鍼・施灸練習
11	腰下肢・殿部：ROM測定練習　胸腰部、股関節　検査法　1
12	腰下肢・殿部：ROM復習・検査法復習　　検査法2
13	腰下肢・殿部：ROM復習・検査法復習　　検査法3
14	腰下肢・殿部：ROM復習・検査法復習　刺鍼・施灸　2
15	腰下肢・殿部：ROM復習・検査法復習　刺鍼・施灸　3
16	腰下肢・殿部：ROM復習・検査法復習　股関節周囲への刺鍼　1
17	腰下肢・殿部：ROM復習・検査法復習　坐骨神経痛への刺鍼　股関節周囲への刺鍼　2
18	腰下肢・殿部：ROM・検査法　まとめ
19	期末試験　　検査・　鍼練習
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	応用実技6	担当者名	大庭　慎一朗

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数				40		

授業概要	ここでは基礎で学んだ技術に身体の各部位別に適切な刺鍼・施灸が行えることを目的とする。 また疾患の鑑別に必要な検査法を習得することを目的とする。
成績評価	実技小テストの点数と、期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての 自覚を加味して総合的に評価します。
その他	大庭　慎一朗（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技　基礎編	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書	図解　整形外科学検査法	新関真人	医道の日本

回数	授業計画
1	肩関節：検査法・関節可動域検査　1
2	肩関節：検査法・関節可動域検査　2
3	肩関節：刺鍼・施灸　1
4	肩関節：刺鍼・施灸　2
5	肩関節：刺鍼・施灸　3
6	頚部：検査法・関節可動域検査　1
7	頚部：検査法・関節可動域検査　2
8	頚部：刺鍼・施灸　1
9	頚部：刺鍼・施灸　2
10	頚部：刺鍼・施灸　3
11	胸郭：検査法　1
12	胸郭：刺鍼・施灸　1
13	胸郭：刺鍼・施灸　2
14	胸郭：刺鍼・施灸　3
15	自由上肢：検査法　1
16	自由上肢：検査法　2
17	自由上肢：刺鍼・施灸　1
18	自由上肢：刺鍼・施灸　2
19	期末試験
20	総復習、まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技1	担当者名	中村裕司　松井恵理

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数					40	

授業概要	中医学と経絡治療を基盤とした伝統医学的治療の考え方、治療法を体得する。
成績評価	期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。
その他	中村　裕司（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務） 松井　恵理（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	配布プリント		
参考図書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社

回数	授業計画
1	背候診①　ペア順次先後交替
2	背候診②　ペア順次先後交替
3	腹診
4	原穴診と東洋医学的問診票①　ペア順次先後交替
5	原穴診と東洋医学的問診票②　ペア順次先後交替
6	銀鍼刺入練習①　自己刺入（切皮、旋撚術、直・斜・横刺、曲鍼にならないよう刺入できるのが目標）
7	銀鍼刺入練習②　相手の下肢に刺入練習
8	銀鍼刺入練習③　相手の上肢に刺入練習
9	銀鍼刺入練習④　相手の腰背部に刺入練習
10	VAMFIT①
11	VAMFIT②
12	経筋治療①
13	経筋治療②
14	奇経治療①
15	奇経治療②
16	弁証論治①
17	弁証論治②
18	まとめ　練習
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技2	担当者名	大中　孝子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数					40	

授業概要	レディース鍼灸（女性特有の疾患・症状）について治療の考え方、治療法を体得する。
成績評価	定期試験の成績、出席状況、授業態度を総合的に判断し評価する。
その他	大中　孝子（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	配布プリント		
参考図書			

回数	授業計画
1	レディース鍼灸について
2	自律神経の調整（冷え～不定愁訴）
3	婦人科：周期異常
4	婦人科：月経痛①
5	婦人科：月経痛①
6	婦人科：不妊
7	婦人科：骨盤位
8	マタニティ鍼灸：妊娠時へのアプローチ
9	更年期障害
10	美容の鍼①
11	美容の鍼②
12	美容の鍼③
13	美容の鍼④
14	美容の鍼⑤
15	美容の鍼⑥
16	美容の鍼⑦
17	美容の鍼⑧
18	美容の鍼⑨
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技3	担当者名	皆川　剛

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数						40

授業概要	代表的な運動器疾患を題材に局所解剖を理解し、部位・深度・刺入方法で鍼を刺入することができる。 足関節の構造を理解し、内反捻挫に対して保護的なテープを巻くことができる。
成績評価	出席状況、レポート提出、授業態度等、施術に携わる社会人としての自覚を加味して総合的に評価します。
その他	皆川　剛（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	配布プリント		
参考図書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社

回数	授業計画
1	トリガーポイント　下肢　1
2	トリガーポイント　下肢　2
3	トリガーポイント　上肢　1
4	トリガーポイント　上肢　2
5	トリガーポイント　頸部　1
6	トリガーポイント　頸部　2
7	テーピング　1
8	テーピング　2
9	テーピング　3
10	西洋医学的鍼治療　上肢　1
11	西洋医学的鍼治療　上肢　2
12	西洋医学的鍼治療　体幹　1
13	西洋医学的鍼治療　体幹　2
14	西洋医学的鍼治療　体幹　3
15	西洋医学的鍼治療　腰背部　1
16	西洋医学的鍼治療　腰背部　2
17	まとめ1
18	まとめ2
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技4	担当者名	村上　晋介

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数						40

授業概要	鍼灸臨床でよく見られる不定愁訴を中心に、現代医学的アプローチ、東洋医学的アプローチによる治療を学ぶ。
成績評価	期末試験および授業態度を考慮し、総合的に評価する。
その他	村上　晋介（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
	配布プリント		

回数	授業計画
1	頸肩腕痛に対する鍼灸治療①
2	頸肩腕痛に対する鍼灸治療②
3	頸肩腕痛に対する鍼灸治療③
4	肩関節痛に対する鍼灸治療①（肩関節周囲炎・腱板炎）
5	肩関節痛に対する鍼灸治療②（肩関節周囲炎・腱板炎）
6	肩関節痛に対する鍼灸治療③（肩関節周囲炎・腱板炎）
7	腰痛に対する鍼灸治療①（筋筋膜性腰痛・椎間関節性腰痛）
8	腰痛に対する鍼灸治療②（筋筋膜性腰痛・椎間関節性腰痛）
9	腰痛（下肢症状を伴う）に対する鍼灸治療①（ヘルニア・坐骨神経痛）　坐骨神経刺鍼（鍼通電）
10	腰痛（下肢症状を伴う）に対する鍼灸治療②（ヘルニア・坐骨神経痛）　坐骨神経刺鍼（鍼通電）
11	腰痛（下肢症状を伴う）に対する鍼灸治療③（ヘルニア・坐骨神経痛）　坐骨神経刺鍼（鍼通電）
12	膝痛（変形性膝関節症・ランナー膝）に対する鍼灸治療①
13	膝痛（変形性膝関節症・ランナー膝）に対する鍼灸治療②
14	胸郭出口症候群に対する鍼灸治療
15	特殊鍼法①
16	特殊鍼法②
17	特殊鍼法③
18	治療のまとめ
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技5	担当者名	宮原　正人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数						40

授業概要	我が国は超高齢社会となり、益々高齢者の割合が増えることが予測される。そこで、東西両方の観点から 高齢者特有の疾患・症状を理解し、適切な鍼灸治療を体得する。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	宮原　正人（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	配布プリント		
参考図書			

回数	授業計画
1	肩凝り、頭痛
2	眩暈、耳鳴、難聴
3	脳卒中後後遺症
4	ロールプレイ①
5	運動器症状（腰痛、膝OA）
6	排尿障害（夜間頻尿、過活動膀胱、前立腺肥大症）
7	排便障害（便秘、下痢）
8	ロールプレイ②
9	パーキンソン病
10	不眠
11	うつ
12	ロールプレイ③
13	糖尿病
14	帯状庖疹
15	認知症
16	ロールプレイ④
17	治療のまとめ①
18	治療のまとめ②
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実習1	担当者名	大中　孝子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				1	授業時間数				45		

授業概要	患者に接する医療人としての姿勢をみにつける医療面接を行う。 医療面接の目的である「ラポールの形成」「情報聴取」「患者教育」の3点の意識づけ。 日常的に行っている人への接し方が、ロールプレイを通じてどのように感じられているのかを「気づき」、自分なりに「受容」し「検討」する。
成績評価	授業後に記載するレポート提出と、定期試験による医療面接のロールプレイにて評価する。
その他	大中　孝子（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション
2	オリエンテーション
3	医療面接　医療面接技法　1
4	医療面接　医療面接技法　2
5	医療面接　コミュニケーションの方法　1
6	医療面接　コミュニケーションの方法　2
7	問診項目の把握・導入の仕方について
8	カルテの書き方・記入練習
9	一般問診項目（西洋医学的視点）について
10	十問診（東洋医学的視点）について
11	メモを取りながら医療面接　ロールプレイ
12	メモを取りながら医療面接　ロールプレイ
13	メモを取りながら医療面接　ロールプレイ
14	メモを取りながら医療面接　ロールプレイ
15	メモを取りながら医療面接　ロールプレイ
16	メモを取りながら医療面接　ロールプレイ
17	メモを取りながら医療面接　ロールプレイ
18	メモを取りながら医療面接　ロールプレイ
19	メモを取りながら医療面接　ロールプレイ
20	メモを取りながら医療面接　ロールプレイ
21	メモを取りながら医療面接（カルテ作成込み）　ロールプレイ
22	メモを取りながら医療面接（カルテ作成込み）　ロールプレイ
23	メモを取りながら医療面接（カルテ作成込み）　ロールプレイ
24	メモを取りながら医療面接（カルテ作成込み）　ロールプレイ
25	メモを取りながら医療面接（カルテ作成込み）　ロールプレイ
26	メモを取りながら医療面接（カルテ作成込み）　ロールプレイ
27	メモを取りながら医療面接（カルテ作成込み）　ロールプレイ
28	メモを取りながら医療面接（カルテ作成込み）　ロールプレイ
29	総括　1
30	総括　2

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実習2	担当者名	大中　孝子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				1	授業時間数				45		

授業概要	これまで習得した技術や技法を用いて、 臨床の現場でよくみられる各疾患に対する適切な診察が行えることを目的とする。 また臨床でよく用いられる徒手検査法も反復して行い、技術向上を図る。
成績評価	試験およびカルテやフィードバック用紙の提出状況、出席状況、服装、衛生的な手技、 授業態度等を総合的に評価する。
その他	大中　孝子（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	OSCE症例（頸部疾患） 1
2	OSCE症例（頸部疾患） 2
3	OSCE症例（頸部疾患） 3
4	OSCE症例（頸部疾患） 4
5	OSCE症例（肩関節疾患） 1
6	OSCE症例（肩関節疾患） 2
7	OSCE症例（肩関節疾患） 3
8	OSCE症例（肩関節疾患） 4
9	OSCE症例（上肢疾患） 1
10	OSCE症例（上肢疾患） 2
11	OSCE症例（上肢疾患） 3
12	OSCE症例（上肢疾患） 4
13	OSCE症例（胸郭出口症候群） 1
14	OSCE症例（胸郭出口症候群） 2
15	OSCE症例（胸郭出口症候群） 3
16	OSCE症例（胸郭出口症候群） 4
17	OSCE症例（腰下肢疾患） 1
18	OSCE症例（腰下肢疾患） 2
19	OSCE症例（腰下肢疾患） 3
20	OSCE症例（腰下肢疾患） 4
21	OSCE症例（膝疾患） 1
22	OSCE症例（膝疾患） 2
23	OSCE症例（膝疾患） 3
24	OSCE症例（膝疾患） 4
25	OSCE症例（足部疾患） 1
26	OSCE症例（足部疾患） 2
27	OSCE症例（足部疾患） 3
28	OSCE症例（足部疾患） 4
29	総括1
30	総括2

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実習3	担当者名	大中　孝子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				1	授業時間数					45	

授業概要	これからの鍼灸師にとっても不可欠な能力である医療面接技法のスキルアップさせるために 具体的な症例を用いて実習を行う。 実際に臨床現場で必要な人材になるための人格教育、また業務に必要なカルテの記載力 向上を図ることを目的とする。
成績評価	レポート、出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。
その他	大中　孝子（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	プリント配布		
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション(臨床実習の進め方)
2	オリエンテーション(医療面接の復習)
3	臨床実習に向けての実習①
4	臨床実習に向けての実習②
5	臨床実習に向けての実習③・ 臨床実習施設での実習
6	臨床実習に向けての実習④・ 臨床実習施設での実習
7	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
8	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
9	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
10	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
11	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
12	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
13	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
14	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
15	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
16	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
17	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
18	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
19	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
20	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
17	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
18	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
19	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
20	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
21	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
22	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
23	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
24	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
25	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
26	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
27	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
28	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
29	まとめ1
30	まとめ2

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実習4	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				1	授業時間数						45

授業概要	これからの臨床にとって必要な知識と技術の向上を目的に、具体的な症例を用いたシュミレーションを行う。 また、症例から得られた情報をまとめ、カンファレンス形式で発表する。
成績評価	レポート、出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。
その他	馬男木　亨（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	プリント配布		
参考図書			

回数	授業計画
1	臨床シュミレーション
2	臨床シュミレーション
3	臨床シュミレーション
4	臨床シュミレーション
5	臨床シュミレーション
6	臨床シュミレーション
7	臨床シュミレーション
8	臨床シュミレーション
9	臨床カンファレンス①
10	臨床カンファレンス②
11	臨床シュミレーション
12	臨床シュミレーション
13	臨床シュミレーション
14	臨床シュミレーション
15	臨床シュミレーション
16	臨床シュミレーション
17	臨床シュミレーション
18	臨床シュミレーション
19	臨床カンファレンス③
20	臨床カンファレンス④
21	臨床シュミレーション
22	臨床シュミレーション
23	臨床シュミレーション
24	臨床シュミレーション
25	臨床シュミレーション
26	臨床シュミレーション
27	臨床シュミレーション
28	臨床シュミレーション
29	臨床カンファレンス⑤
30	臨床カンファレンス⑥

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習1	担当者名	松井恵理　篠原卓也

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数		40				

授業概要	解剖学・生理学の科目間の連携をはかり、また東洋医学の知識も交えて 実際の鍼灸臨床に役立つように、さらに深く理解することを目的として総合的に学習する。
成績評価	出席点や宿題、レポート提出により評価する。
その他	松井　恵理（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務） 篠原　卓也（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版） 生理学（第3版） 東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	現代医学を東洋医学で考える①
2	現代医学を東洋医学で考える②
3	現代医学を東洋医学で考える③
4	現代医学を東洋医学で考える④
5	現代医学を東洋医学で考える⑤
6	現代医学を東洋医学で考える⑥
7	現代医学を東洋医学で考える⑦
8	現代医学を東洋医学で考える⑧
9	現代医学を東洋医学で考える⑨
10	現代医学を東洋医学で考える⑩
11	東洋医学を現代医学で考える①
12	東洋医学を現代医学で考える②
13	東洋医学を現代医学で考える③
14	東洋医学を現代医学で考える④
15	東洋医学を現代医学で考える⑤
16	東洋医学を現代医学で考える⑥
17	東洋医学を現代医学で考える⑦
18	東洋医学を現代医学で考える⑧
19	東洋医学を現代医学で考える⑨
20	東洋医学を現代医学で考える⑩

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習2	担当者名	黒川典子　河口弘幸

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数				40		

授業概要	西洋医学・東洋医学の科目間の連携をはかり、実際の鍼灸臨床に役立つように さらに深く理解することを目的として総合的に学習する。
成績評価	出席点や課題、レポート提出により評価する。
その他	黒川　典子（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務） 河口　弘幸（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学（第3版） 解剖学（第2版）	佐藤優子・佐藤昭夫他　著 奈良　信夫・佐藤千史他　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋医法学校協会編	医道の日本社

回数	授業計画
1	鍼灸臨床における病態理解①
2	鍼灸臨床における病態理解②
3	鍼灸臨床における病態理解③
4	鍼灸臨床における病態理解④
5	鍼灸臨床における病態理解⑤
6	鍼灸臨床における病態理解⑥
7	鍼灸臨床における病態理解⑦
8	鍼灸臨床における病態理解⑧
9	鍼灸臨床における病態理解⑨
10	鍼灸臨床における病態理解⑩
11	鍼灸施術における臨床医学①
12	鍼灸施術における臨床医学②
13	鍼灸施術における臨床医学③
14	鍼灸施術における臨床医学④
15	鍼灸施術における臨床医学⑤
16	鍼灸施術における臨床医学⑥
17	鍼灸施術における臨床医学⑦
18	鍼灸施術における臨床医学⑧
19	鍼灸施術における臨床医学⑨
20	鍼灸施術における臨床医学⑩

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習3	担当者名	中村裕司　村上晋介

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数					40	

授業概要	これまでに習得した知識を基礎から確認し、応用な知識へと向上させることを目的とする。
成績評価	期末試験、授業態度、知識及び習熟状況を総合的に評価。
その他	中村　裕司（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務） 村上　晋介（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1 2	オリエンテーション
3 4	問題演習①基礎（解剖学）　解答・解説
5 6	問題演習②基礎（生理学）　解答・解説
7 8	問題演習③基礎（病理学・臨床医学総論）　解答・解説
9 10	問題演習④基礎（臨床医学各論）　解答・解説
11 12 13	問題演習⑤基礎（東洋医学概論・経絡経穴概論）　解答・解説
14 15 16	問題演習⑥基礎（東洋医学臨床論・はり理論・きゅう理論）
17 18 19 20	期末試験　解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習4	担当者名	篠原　卓也

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数						40

授業概要	解剖学と生理学、病理学の科目間の連携をはかり、 実際の鍼灸臨床に役立つようにさらに深く理解することを目的として総合的に学習する。
成績評価	原則として、授業態度、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	篠原　卓也（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版） 生理学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 佐藤優子・佐藤昭夫他　著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	解剖生理病理　基礎①
2	解剖生理病理　基礎②
3	解剖生理病理　基礎③
4	解剖生理病理　運動系①
5	解剖生理病理　運動系②
6	解剖生理病理　運動系③
7	解剖生理病理　運動系④
8	解剖生理病理　運動系⑤
9	解剖生理病理　神経系①
10	中間試験　解答・解説
11	解剖生理病理　神経系②
12	解剖生理病理　神経系③
13	解剖生理病理　神経系④
14	解剖生理病理　神経系⑤
15	解剖生理病理　内分泌①
16	解剖生理病理　内分泌②
17	解剖生理病理　内分泌③
18	解剖生理病理　内分泌④
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習5	担当者名	河口　弘幸

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数						40

授業概要	経穴の取穴部位と身体解剖との位置関係を理解し、それを東洋医学的鑑別（四診法など）を用いてそれぞれの病証に対して弁別し、鍼灸治療を用いた臨床応用が出来るように学ぶ。
成績評価	原則として、小テストを含めた定期試験の結果で評価する。
その他	河口　弘幸（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版　経絡経穴概論	教科書執筆委員会　著	医道の日本社
参考図書	東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋医法学校協会編	医道の日本社

回数	授業計画
1	経穴の総合演習①（骨度法、流注について）
2	経穴の総合演習②（要穴について）
3	経穴の総合演習③（背部、腹部の並びの経穴について）
4	経穴の総合演習④（四肢の経穴について）
5	経穴の総合演習⑤（奇経八脈、奇穴について）
6	経穴の総合演習⑥（筋と経穴について）
7	経穴の総合演習⑦（神経と経穴について）
8	経穴の総合演習⑧（神経と経穴について）
9	経穴の総合演習⑨（動脈、臓器と経穴について）
10	中間試験　解答・解説
11	東概の総合演習①（五行色体、陰陽について）
12	東概の総合演習②（生理物質について）
13	東概の総合演習③（臓腑について）
14	東概の総合演習④（経絡について）
15	東概の総合演習⑤（病因病機について）
16	東概の総合演習⑥（四診について）
17	東概の総合演習⑦（弁証論治について）
18	東概の総合演習⑧（弁証論治について）
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和4年度　鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習6	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数						40

授業概要	これまでに習得した知識を応用な知識へと向上させることを目的とする。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	馬男木　亨（はり師およびきゅう師として鍼灸施設に勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論 東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	問題演習①応用（解剖学）　解答・解説
2	
3	問題演習②応用（生理学・病理学）　解答・解説
4	
5	
6	問題演習③応用（臨床医学総論・臨床医学各論）　解答・解説
7	
8	
9	問題演習④応用（東洋医学概論・経絡経穴概論）　解答・解説
10	
11	
12	
13	問題演習⑤応用（東洋医学臨床論・はり理論・きゅう理論）　解答・解説
14	
15	
16	
17	期末試験　解答・解説
18	
19	
20	